

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-13))」

2. 日時：令和5年2月3日(金) 9時40分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 松本執行役員 技術本部副本部長(土木建築) 他15名

東京電力ホールディングス株式会社

サイクル技術グループ グループマネージャー

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料サイクルマネージャー 他2名

日本原子力発電株式会社(発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ)主任

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「類型分類の基本的な考え方」

「溢水による損傷の防止に関する申請対象設備について」

「重大事故等対処設備の系統構成等に関する補足」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	しました。規制庁の竹田です。
0:00:05	それではただいまから、多分原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリングは、令和4年の12月にあった設工認申請について、
0:00:14	本日提出がおかしいよと、
0:00:17	等について事実確認を行うものになります。
0:00:21	まず、規制庁側の出席者ですが、本庁側から、コサクフジワラタジリ。
0:00:28	タケダ。
0:00:30	ウェブからの参加が、
0:00:33	オオハシタカナシハバサキキシノ。
0:00:37	オオオカ。
0:00:39	以上になります。
0:00:40	それが日本原燃から出席者の紹介と、本日の資料の説明範囲、達成目標、
0:00:48	について説明をお願いいたします。
0:00:53	はい。
0:00:54	訓練事務局中浜でございます。
0:00:57	日本連盟側の出席者を紹介いたします。
0:01:01	両町分類関係で、
0:01:04	みんな、
0:01:05	小シミズ、
0:01:08	重大事故関係で、セガワ、
0:01:11	ホリグチ、
0:01:13	或いは家ナゴ。
0:01:16	一番関係で、
0:01:19	広場に、
0:01:20	やし。
0:01:21	出せ。
0:01:24	これ設計様より上様、飛田様。
0:01:29	仲野様。
0:01:31	あとちょっとメンバーの事務局で、サトウ、
0:01:34	タカハシ、イシハラ、
0:01:37	藤間。
0:01:38	中浜。
0:01:39	以上となります。

0:01:41	栗田土岐の資料でございますけども、最初ので、すみません、設備構造の話がなかった気がするんですけど今日設備構造の話も聞くということを記載したと思うんですけど今って抜けました僕が聞き逃しましたどっちですかね。
0:01:55	医者でございますすみません冒頭の説明を受けておりますので構造の今後の進め方も含めて説明をさせていただきます。はい。規制庁館ですよろしく願いします。続けてください。
0:02:09	はい。
0:02:11	事務局の赤間でございます。そうですね
0:02:15	もう1を使って、追加で5、
0:02:19	ご案内いたします。関西電力さんによる、
0:02:22	秋田様。
0:02:26	透明度でございますけどもまずその種類経過分類の
0:02:30	考え方につきまして、一昨日のですね宿題回答をさせていただいて、そのあとに、構造のお話をさせていただきます。
0:02:40	そのあとに、昨日の
0:02:43	月例の進め方今SE関連の今後の進め方、
0:02:48	説明させていただいた後、1番目分の設定について、
0:02:53	資料の構成の流れとなっております。
0:02:57	それでは類型分類の基本的な考え方からご説明を差し上げます。
0:03:03	はい。新沼です。類型分類ですが、
0:03:11	口頭でお話してますが
0:03:13	保障化してる図書館という文章にしてですね皆に誤開概要伝わるような状態にして次の数えるというふうなステップに進むために、
0:03:25	まずは資料として本日、提出したものを説明させていただきます。
0:03:30	1枚目なんですけども、布石シンプルにしております。
0:03:36	目的はですね、各条文の設計内容ごとに、対象物量を整備することで、申請対象設備ごとに、設計として説明する事項。
0:03:48	これは対象物を明確にするというふうな目的で、それを申請対象設備リストを使って行うんだということを1ページ目に記載してございます。
0:03:59	ページ目、運営の話を記載してございます。こちらですねシンプルになりました、
0:04:09	新規に設置する設備全部ここに入ります話とですね、その条文の中で、
0:04:17	設計で説明する対象を明確にするということで、下の方に例がございしますが、6条であれば耐震クラスだとか波及的影響だとか、

0:04:27	そういったことが、8条であれば防護対象、波及的影響を対象、対策設備ということで、それを1に数を明らかにすることで、
0:04:40	目的があったことを達成しようというふうに考えてございます。
0:04:44	3ページ目です。
0:04:47	こちら右側になります。
0:04:49	B案はですね。
0:04:51	まずは、書いてあるのは、警部会議で対象明確化するというふうなことが、第1にございます。二つ目としまして、
0:05:03	A、A、近接本人から設計方針の項目に対して、設計条件が変更された条文が対象になるんですということを書いてございます。
0:05:13	三つ目なんですけども、らしい、その中でも、設備単位としてですね、
0:05:20	設工認での設計が変更がないものというものもありますんで、そういったものは、B案の方に、質問しますというふうなことを言ってございます。
0:05:31	で、具体的な対象ということでこちらの耐震ということで、どう、
0:05:37	ICということですね、その括弧の中に書いてあるような、その耐震Sクラスであるとか、はっきり影響だとか、
0:05:46	というふうな、そういった内訳っていうのをちゃんと示していくと。
0:05:51	いうことで考えてございます。
0:05:53	4ページ目なんですけど、こちらは、
0:05:57	このB案に入るものという、専決調べるにあたって、吉川でどういった設計方針に基づいておいて評価してたかというのを、
0:06:08	一覧として示したものになってございます。これを用いて検討したということです。
0:06:14	5ページ目になります。こちらは今度BII足になります。BIIもですね同じく条文単位で対象を明確化しますという、最初にうたってます。
0:06:27	その次に、どういうものかという、新規基準を要求事項が追加を課された条文が対象ですということを謳ってございます。
0:06:38	こちらもB1と同じようにですね、木瀬設備単位でですね、既設工認での設計から変更がないものは、利用方法としますということを記載してございます。
0:06:51	で、その下にですね当所としてBに入るものというものを記載しています。P値と同じように、その内訳としてですね防護対象なのか評価対象なのか。
0:07:05	余剰分と言っても、
0:07:08	それじゃけど施設に示していく、いうふうに考えてございます。
0:07:14	6ページ目ですが、これはBさんで、あまりこれまでとは、何ですかね、機械のメーカー。

0:07:24	みたいなこと。
0:07:26	あまりないので、説明は割愛します。
0:07:29	7 ページですね、B案ですね、イオンの方は、まずここに記載しましたが、PP BからAの中でですね、既設本人で設計から変更がない、した設備、
0:07:45	入るといふうなことを書いてあるのと、
0:07:48	えっとですね、新規制基準を、
0:07:52	施行以前の要求から変更のない条文、
0:07:55	が対象になりますと、それは何でって言ったら設備に対する適合性に係る設計を説明する必要がないということで、対処。
0:08:07	今度最初になるんですというふうなことを記載して下の方に、具体的な条文の話を書いてあるということになります。
0:08:15	その次 8 ページですが、1 ページの方は、
0:08:21	施設交通の話です。これは昨日口頭でお話させていただいたことを、
0:08:27	文字に起こしたものになってございます。
0:08:31	申請設備リスト上の当該の方針に関連する設備に紐づけていくんだというふうなことを書いてございます。それでは、神建屋の扱いというかですねリストにならないようなものっていうのは、その設計プロセス、
0:08:47	同様のせえプロセスを実施している設備との関連性を示していきますということに記載してございます。
0:08:55	最後に 9 ページになりますが、こちらはその他事項の総合整備の考え方を記載してございます。
0:09:03	まず一つ目のポツのところ共通 02 で整理した項目を推して整理しますと、二つ目のポツで、規則、
0:09:15	要求の追加変更に基づき変更するものではないので、項目ごとに変更する内容、検証設備、とあと設工認受け変更内容を整理し、分類するということに記載してございます。
0:09:29	で、設計としてご説明する。
0:09:33	ない、運営している追加だったり、
0:09:37	というものは、この整理の対象外にするということで明記させていただいてございます。
0:09:43	で、具体例ということで、こちらに、からP4 までの分類というのを記載させていただきます、
0:09:54	そうですね、記載してございます。
0:09:57	説明は簡単になりますが以上となります。

0:10:02	規制庁の竹田です。ありがとうございます。それではこの新鈴木松江規制庁側から確認等あればお願いいたします。
0:10:15	規制庁コサクです。
0:10:18	そもそもの整理の仕方として最後のページが何で抜き出して書かれてるのか、本体側の整理と整合してんのかっていうのが全くわからなくなっちゃって何で分けて整理してるんでしょうか。
0:10:33	昨日のヒアリングではそう混乱しないように、
0:10:37	これが内数としてわかる整理をして、入れ込むようにという話をしたと思ってたんですけど。
0:10:48	はい。日本原燃の蝦名です。
0:10:51	玉野ところにちょっと記載させていただいたんですが、
0:10:57	ちょっとこれを入れてし、す。
0:11:00	特に
0:11:01	条文ごとで整理してるというところがありますんで頭が十分ではないということもあってですね、現状はちょっと枠の外に入れ、すべて分けて考えてます。新しいコサクで例えば日、
0:11:14	ごめんなさい。
0:11:16	条文ごとの整理わあ、
0:11:18	いずれにしても一体として説明であって、その他変更についても条文で説明してもらわなきゃいけないって、
0:11:26	何ですか、一体で説明っていう、
0:11:29	前回会合の説明を保護して、
0:11:32	こういうのは個別に説明しますってことですか。
0:11:36	だったらこの整理いらんんですよ。
0:11:40	室西原でございますちょっと受け答え
0:11:43	おかしくなりました
0:11:45	一旦これから2分、多分河野元個別にやらしていただきましたがちょっと我々の頭の整理として整備してますただ元は、別途その最後のですね、
0:11:56	絡み向けのページ、
0:12:00	そして戻した上で、
0:12:02	いわゆる同じ考え方のそごはないという確認をした上で、
0:12:07	交流させるつもりでした。以上です。
0:12:10	はい。補足です。なので、参考でそのた変更はどうなってますっていうのは別に構わないんですけど、

0:12:18	前の方 2 例示として書いてこれはその他変更事項。
0:12:24	のものですっていうので書くぐらいで十分わかると思ってます。で、前回も言ったように、
0:12:33	等を、
0:12:36	この最後のページで、有毒ガスに係る対応とか何とかって言うふうに言われてしまっても、これもその条文ごとに扱いが違うはずで、
0:12:46	漠と言われても、正しくないんですよ。
0:12:50	なので、ちゃんと中で整理をしてくださいと申し上げました。
0:12:54	で、
0:12:57	藤。
0:12:58	有毒ガスに係る対応が、
0:13:04	新設設置ところ単純に書かれると、若干違和感があって、
0:13:09	確かに新設ではあるんですけど、新基準適合で、そもそも設置をするもの。
0:13:17	として有毒ガスでは、許可債話をしているですね、余計混乱するので、
0:13:25	ちゃんと整理をしてください。
0:13:28	せっかくこの記事を開いて話をしているので、
0:13:33	確認をしてしまった方がいいかなと思うんですけど。
0:13:41	次のビーチワー、もともと保管容量について、許認可で話をしているものの、その数字の変更なので条件変更ですと、
0:13:53	ということなのは理解ができるんですけどその次の条件追加、B2 については、
0:14:02	と、これは何のことだかちょっとよくわからない。
0:14:07	ので、説明してもらえますか。
0:14:17	はい。日本原燃清水です。
0:14:19	今回、本件B2 入れたのは、
0:14:23	追加要求である内部火災要求に対し、
0:14:28	まず関連する条文としては外部火災がありますと。
0:14:32	それも、
0:14:33	まずは評価にあたってのインプットとして、屋外にある試薬タンクたちが悪さしないように設計として変更したということを踏まえまして、設計条件が追加になったものということでちょっと我々1 弾で整理させていただきました。
0:14:49	古作です。あれですかね、
0:14:54	設置変更ワー許可の際の現地調査でもうお聞きしてますし、話はしてます。
0:15:06	が、これあれですか、許可の断面D。
0:15:09	この対策として移設しますみたいなことは書いてあったんですけど。

0:15:16	日本原燃。
0:15:18	日本原燃清水です。許可上はですね、現実的にこの
0:15:24	Iん所、外部火災対策としてやるという意味では明示しているわけではないんですが、許可の設備の配置情報の中で、地下化するという情報を記載してございました。
0:15:37	はい。不足です。ある意味
0:15:40	志賀にありますだからこうですっていう影響評価的な話を聞いてたような気がして、若干
0:15:48	何ですかね、位置の変更っていうのが正しく取り扱っていなかったかなっていう気もするんですけど、設工認ですので、物として明確にしていくということから
0:16:02	より許可よりもしっかりとわかるようにして整理をしたと。
0:16:06	いうことで理解をしました。
0:16:09	要求事項の追加であって、
0:16:13	それを踏まえた改造もあるということなのでにしたということで、の前の考えと、一応合っているということと理解をしました。
0:16:29	規制庁の館です。次行ってお聞きしてみたいんですけど。
0:16:33	例えば冷却塔の位置は丹野亜怜だったんですけど、これは全体像としてのあれじゃなかったでしたっけあれ。便変わる。
0:16:41	冷却冷却とは新設扱いだから、これもっていうこともあり得るので、そこと違いがあっても
0:16:52	試業建屋もなるほど昔登録されたカートの関係ないような気も施設なんですけど、これに関しては、1 変更だけdBっていうのって何か違うんでしたっけ。
0:17:06	石原でございます。はい。
0:17:10	んと。
0:17:12	連絡等については、まず、Aカウントしました後 1 方向というの、十分適合性説明すれば新規設備として、例えば抜けなく整備ができるだろうと。
0:17:25	定例だったり設備、観点がずれない位でやらせていただきました。あと、
0:17:31	市役所製の設置位置の要綱についてはグラムそれ自体の設計が終了に行くという、いわゆる外部火災とかのハザードとしても、インプットの条件だと。
0:17:43	それをした上での評価という付けをして、部分ということで整理させていただきました。以上です。
0:17:52	規制庁の田尻です。
0:17:54	ちょっとわかりづらかったところがあるんですけど、

0:17:57	もともと試薬建屋の中に猪市役所層が存在していて、その位置がその上層階にいる形になると、航空機とか墜落した時に火災も激しくなってしまうので地下化したような覚えはあるんですけど、
0:18:10	今のお話っていうのは、やったってあって、昔はそれ自体として登録されてなかったんでしたっけ、昔から登録されたんだったら、それがなくなって新しく設置っていうふうに見える気がするんですけど。
0:18:23	今のお話だとあくまで防護対象とかを考える上でのハザード側のものとしての話で、今回改めて明確化するような形になって新規とまで言わずにその関連者としてB2って言ったとかそんなふうに分かれました。
0:18:38	いまいちすみません、理解しきれなかったんですけど。
0:18:48	はい。吉田でございます。試薬の貯槽、聞こえる位置付けがどうだったかというところも考えた上で今、言葉の評価との関係で紐付けをしました。
0:19:01	既工認でそういうものが見ますと、
0:19:04	そこから供給しますという位置情報系統情報だけが入っていて、細かいそのタンクの設計があるのかっていうのは、
0:19:14	やっぱ、主要な設備になっていなかったんで、
0:19:17	これ、
0:19:19	客との差別化をしたということでした。以上です。
0:19:22	あ、ごめんなさい、古作です。ちょっと確認ですけど、この関係での設備RIS等に上がっているものは何ですか。
0:19:40	はい。乾イシハラでございます。これは一緒じゃんって言われるんですけど、TIPの経営調査とかタンクそういうふうに分かれています。
0:19:51	古作です。そうすると先ほどの石原さんの説明はちょっと、
0:19:55	よくないかなあと思っていてですねそのものを作り直すんだという、
0:20:01	こと。
0:20:02	になるんじゃないかなそうすると冷却塔と一緒にじゃないかなと。
0:20:06	ということのような気がするんですけどそれが仕様表なのか、基本設計方針側なのかっていう違い。
0:20:15	ということじゃないかと思いましたけどいかがですか。
0:20:18	はい、伊勢谷でございますそうですねグレードと陸とおっしゃっていただいた通り、
0:20:24	きょくとうが商標対象、主役他への入っているタンクが、指標に出てこなくて機能性吸収で対象が明確文書が出てくると。
0:20:34	3ぐらいですね。はい。
0:20:37	はい。補足です。そうすると一

0:20:40	インプット側なのか守るべきものなのかとかっていう、違いはあったとしても今、野中新居そういうのも含めて入れているっていうこ等ですので、考えからするとAの方が、
0:20:54	いいかなと思いましたけどいかがですか。
0:20:58	はいユニシアでございます。整理をさせていただいてもおっしゃっていただいていることは理解をしました。
0:21:05	見込みをせずに新規の新規ということですよ。
0:21:09	自分でやった方が考え方もぶれなくて済むと思うので。はい。ありがとうございます。
0:21:17	はい。補足です。B4 がまた条件変更は条件変更でないと言った増えたのがいまいわかりづらいですけど。
0:21:30	これは、
0:21:35	安全側の変更となりっていう、
0:21:40	能登変更しないというのとはまたちょっと違うんですけど、これ、
0:21:46	前回のヒアリングでもう設工認では評価するのしないの。
0:21:52	ていうようなところも整理してというふうにお話したんですけどどういことですか。
0:21:59	はい。日本原燃清水です。はい。こちらの市境界の変更につきましては、
0:22:06	仮にすれば遮へい評価ガス直接線スカイシャイン線の規制による変えられるんですけども、
0:22:11	実際この今回の敷地変更というのは、
0:22:15	多くなる側といいますか、2 広がっ変更でして、
0:22:21	機能間の評価よりは条件が緩くなるといいますか、なので申請書上は、
0:22:28	そういうことに起因化の評価に、
0:22:32	で十分ですよっていうことをですね、変更が発生するようなことはないですよってことを述べて、金庫呼び込むような申請を考えていたのですね、ビジョン、
0:22:42	ちょっと整理させていただきました。
0:22:46	規制庁コサクですけど、
0:22:49	生制度というか、仕組み的には、
0:22:54	設工認で改めて評価をする事項であると。
0:22:59	一方で、条件を、
0:23:05	見直して再評価しなくても、適合することが判断できるので、今回、
0:23:12	再評価はせずに対応していると。
0:23:16	ということですよ。

0:23:18	はい。2番目のシミズは今おっしゃっていただいた通りです。
0:23:23	はい。補足ですそれをB4と言っているかどうかというところですかね。
0:23:32	はい。乳井西原でございます私が言っちゃいけないんですけどBとB4で最後まで迷ったのは事実でございます。
0:23:40	んば評価をするっていうことは落ちそうだったということを確認するということから含めてもうなんか、
0:23:47	教官の設定分だったらできるだろうという考え方もありましたし、とりあえず、もともとだから、言わずもがなだとあれば、
0:23:58	んだろうし、これ最後にも事実でございます以上です。
0:24:03	はい。補足です。つまり、ビーチじゃないですか。
0:24:09	失礼しました。B地点を迎える際、
0:24:12	はい、古作ですので、許可の方変更事項として扱ってるので、B4でその変更なしって言われてもちょっとしっくりこないの、B、B値にして、
0:24:25	正しい内数であるということを確認してますっていうふうに説明いただいた方が、理解しやすいかなと思います。
0:24:37	はい、上西でございます。はい、ありがとうございます。はい。おっしゃっていただくことは理解をしました。はい。
0:24:44	はい。補足です。その上で改めて最初からなんですけど、
0:24:52	早速、
0:24:54	全体は計算整えてるだけなので2ページのからでいいですか。
0:25:00	ですけど、
0:25:04	そんなに論点はあるわけじゃないんですけど最後の括弧でっていうのを意図しているのわあ、設計で説明する対象を明確にするということについての、
0:25:19	例のような気はするんですが、これは前回お話あったように、説明スルー。
0:25:27	視点というかが大きく違う、内容が違うということから、ある程度の分類をしてそれぞれの内訳を示すと。
0:25:37	いうことでしたよね。
0:25:41	はい。日本原燃の蝦名です。はい。おっしゃる通りでそういうふうな内訳そういうふうな物量を示していくというふうに考えてございます。
0:25:52	はい。コサクですそれがこれで読めるのかっていうのが非常に、
0:25:56	よくわからなかったんですけど、社内で共通理解が取れてるなら記載ぶりにはこだわりませんが、一応気になったのでお伝えをしておきます。で、
0:26:07	ない項目内容が違うのでというの、
0:26:12	分類として、耐震では、耐震クラスNO違い

0:26:17	プラス波及的影響を考えるか考えないかと、というようなことでの違いということがありますよ。
0:26:24	外的事象については、防護対象なのか対策設備等、対象設備なのか、対策設備なのか。
0:26:32	或いは波及影響なのかということがあるということで
0:26:37	はこれまで話した通りかなと思いますので、僕はもう今の時点で整理をすることによって理解をしました。
0:26:46	他に何かありますか。規制庁の谷です。
0:26:50	ええかどうか十分なやつだと一線薬品の結果の喧々ようものとかの話は、今後の課題まずは大枠の整理は助教やりたくて、細かい地積てるやつは今後示して持ってけばいいですか。そしたら今日はこの枠だけ聞いてもらうんですけど。
0:27:09	上西でございます。大変申し訳ないです。もう1回でもいいですか。規制庁の谷です。前に溢水の積とかの話に関して薬品と兼用してるんじゃないかっていうので数が大きく違うんじゃないかっていうので、
0:27:22	結局県用語だと整理するのが違うのかとかの話聞かしてくださいねっていうのは前から言っていて、ただ大枠の製品っていうのは個別の整理の話になるので、まず今日は大枠の整理までの話をした上で、
0:27:35	そういった細かな話は今後ぜひ説明しますっていうんだったら今日時点ではこれ以上言わないんですけど、
0:27:42	はい。乳井西田でございます。おっしゃっていただいたように、まず数をカウントするということを作業スタートする前に決めておかなきゃいけない、大枠の考え方をここで決めて、作業に移りたいと思ってますSA化学薬品の相互関係みたいなものは、
0:27:59	証券化答え出すと説明するときに米津の考え方をご説明したいと思ってました。以上です。
0:28:05	はい。規制庁藤です。状況はわかりました。
0:28:08	コサクです今の点で言うと、この整理って、
0:28:13	何となく1ポツじゃなくて2-1にも入っているような感じになっていてですね、1ポツのその設計方針を改めて確認してその対応っていう、この話の手前に本来、
0:28:28	薬品の
0:28:31	審査のプロセスであるんだろうなど。

0:28:35	思ってます。なので今回はその申請にあたって原燃がやっていることっていうのをまずまとめていただいて、その上で1ポツのヒアリングで明確にさせていただき、
0:28:48	それに対応して、2-1ということでのこの数字なり、実際のもの、この後の構造の概要と、
0:28:57	いう説明をしていただいてっていうところで必要なのか否かっていうのを順次確認していければと思います。
0:29:06	はい。リョービの石田でございます承知いたしました。
0:29:10	はい。補足です。そうしますと3ページ、3D-1、
0:29:15	ですけども、
0:29:18	これも前回の話がちゃんと入ってるのかっていうのがよくわからなくて、
0:29:25	Aクラス変更のものはB1なんですかBなんですか。
0:29:30	それがわかるようにどう書いたんですか。
0:29:45	リーダ。年齢エビナです。9月変更も含めビーチン全部入れるということで、整理してございますそれが、ちょっとすいません表現はできてなかったかと思えます。
0:30:01	はい。補足です。それが一番気になっていたところで、その他変更からちゃんと考えてねということだったので、整理をして、方針は理解を
0:30:13	しましたけど、類似のもので他悩みとかって現状ないんですか。
0:30:21	具体的にはこの設備についての評価方法が変わるけど、
0:30:25	別途ある評価方法と同じだから、合理的にやりたいと思うようなことってことですけど。
0:30:42	日本原燃の蝦名です。
0:30:45	そうですねいう6月のところの扱いがちょっと悩ましいぐらいかなというふうに考えてございました。以上です。
0:30:55	乳井西原でございます今の向井とずれてるんで
0:31:01	連絡を渡してここをもうすでに自分としてはもうせよ、やっついて今、現状もあるところなんですけど私としてはなので、
0:31:12	そこが実際最後に見えたのか、こんな統一している人たちが大きなようじゃないかは、
0:31:19	ちょっと確認してから作業はスタートさせます。先ほど6月って言いましたけど医療快速結局設計平面として丸に対する適合性を説明しなきゃいけないのかをちゃんと決めておいて、
0:31:32	号炉側、それほどないことはないから大和がおっしゃったようにこれだけまとめて説明する方が効果的効率的だから、やっぱこれ、本来であれば、

0:31:43	けど、
0:31:45	ちょっとここで設計をしますっていうのは我々が考えたことが後でやっぱり2番目。
0:31:51	うちの仕方を考えた上で見解を示したいと思います。以上です。
0:31:58	規制庁の田尻です今説明されたのに絡むんですけど、例えば今言ってきたセールスとかに関しては、結局B1であって、Bに整理するっていうので、
0:32:08	若干、この次のページにも少し絡むんですけど、次のページのところで書かれてる制御室の居住性のところの話って、遮へい計算のやつだけが今説明書で載っかってる形になってるんですけど、
0:32:19	記念館のタイミングでの居住性評価って遮へい計算だけしているのかとかがまたちょっとわかんなくなってきた、もともと求められる居住性評価をやってるうちゅう話だったから、それが変更されてるかされてないかの議論で、
0:32:31	そこで変更してる部分もあるけど有力価値として追加部分もあるからミニデイとかっていう話だと思ったんですけど、次のページについてるやつって網羅的なもんでもない感じですかね。
0:32:53	はい、上野石田でございます。ちょっと答えをちゃんと書かないで恐縮でございますさっき伺ってる近海をやってる評価
0:33:04	セボシに対する評価でやっているような事故時の製する遮へい関係の評価をしているということで、受新規性基準って言うてる急性契約の中の一部にすぎないと思ってますやっぱり技術者としてやるということ。
0:33:23	プラス有毒ガスが入ったということで、社長室提案をしようということで整理をさせていただいたということでございました。以上です。
0:33:33	規制庁谷です。なぜ、居住性評価って言うてもしゃべってさせるしかしなくて、居住性評価主事としては実質追加になってて左右二つ分の追加なんで、まとめてB2でっていうことですかね。簡単に言うと思って。
0:33:44	はい、石田でございます。おっしゃっていただいている通りでございます。続いて同じですや何かずっとやってやってるって話だったんで今理解できました。はい。
0:33:54	はい。補足ですそうすると今の点が止めはあんまりなくなっている状況だと思いますので。へえ。もし今の関係
0:34:05	悩むものがあるってその判断基準とかというものがあれば、また適時、
0:34:13	整理してからではなくて、ちゃんとヒアリングで話をさせていただきたいと思います。
0:34:21	はい、根岸でございますはい。途中段階でも、3日あればヒアリングでお話をさせていただくようにします。はい。以上です。

0:34:31	はい。補足です。
0:34:33	そうしましたら、4 ページの記載ぶりはちょっと細かな話になるので具体のところでお聞きするとして、5 ページ。
0:34:41	B2 ですけれど今も少し話がありました、これも条文に対してっていうふうになっちゃっていて、今話をした実際の設工認の評価でどうなったかと。
0:34:54	ということがこの文章では読み解けないような気がするんですけど。
0:34:59	何か工夫されたんですか。
0:35:04	はいシェアでございます。おっしゃっていただいている通りですね、上部線で区切りつつ、適合性に係る設計を説明する部分とかっていうところが正しく評価になったり、
0:35:18	委員会での説明、評価評価の方針等の説明が管理であったりということで、前回の収益性金もサブないのかないかと。
0:35:27	ここに行くと、それから実設計の適合性の説明の中でのポイントがあるということとをちゃんと認識できる。
0:35:36	所いじらないと、運営が伝わらないと思いますので、先ほどお話をさせていただいたことをちゃんと組んで、
0:35:47	この後にさせていただきたいと思います以上です。
0:35:51	はい。コサクですよろしくお願ひします。少なくとも今出席されてる方の認識は合ってるようなので、
0:36:00	ちゃんと伝わる文言にして指示を展開していただければと思います。
0:36:07	規制庁の田尻です。このページで1点確認しておきたいんですけど、
0:36:12	条文で整理って言った時に一つの条文の中で新規の要求のものがあるやつ等、一部は昔から言うかかってるような、例えばIUとか火災とかいると思った火災はちょっと言いづらいと思うんですけど、火災とか一般いうところはいると思うんですけど、
0:36:27	そういう時っていうのは、別に項ごとに分けて書くとかではなくてまとめて、カウントwとかになっても書くようなイメージになるんですかね。
0:36:37	はい。伊井委員三品でございますそれが多分、
0:36:42	記載をしないと、先ほどのコサクさんといったように、やっているが、非常にそういう気がしますので明文単位でやりたいっていうともうまさしく谷井さんがおっしゃっていただいたように
0:36:56	担当そのものが上にあるんだけど、条文も、くくりの中で例えばスケールTOCの先行全部見た時に明らかに部分と、
0:37:06	これ書かれる。

0:37:08	等一部のものが設計方針として追加になったことが、5 全部明らかなものは、多分設計変更自体が追加になったと。
0:37:18	いうことでいろんな波及派生があるにしろ、多分除去したいいわゆる入れ込みたい、いうこと、そこでいろんなことを考え始めると、見れる可能性があるんで、そういうことを避けるために、
0:37:31	すぐ売ればいいかを絞ろうと言ったのが、考えでした。ただ、適合性の説明の中で、これが評価法この話をしているのか、設計構造設計の話を採用すると説明しているのか、ご説明すればっていうことを、
0:37:46	認識SRIをしないといけないっていうことを考えると、
0:37:50	ちょっと或いは寄贈してます。以上です。
0:37:54	規制庁の田尻です。最後どうカウントした上でまとめるかっていうところだと思うんですけど、梶野竹森だとカウントしていただいた上で、いや、今後説明するものは何かっていうのを示したいのであるならば
0:38:07	さっき名前がよかったけど電源とこだったら皮膚ですってんだったら皮膚って書きゃいいだけの話だし、何について説明するのかっていうのを簡単に書いていただければ、そういったところが変更項目としてちゃんと認識してるのねっていうのはわかる気もするので、
0:38:20	おっしゃったように抜けがないようにまずカウントしていただいた上でどう分類してくかという話だと思うんですけど、一応、一つのペーパーとしてまとめながら各条文を出してこられるということは一応認識したので
0:38:31	どう分けてるのかっていうのが多少わかり注釈で書かれるのか、表になったよう盛り込まれるのかわかんないんですけど整理いただければと思います。
0:38:41	コサクですその点だ等一番下の具体的な対象と書いてるところろうの工夫にもなるかと思うので、これはAなりB一井の話と一緒にですから、
0:38:54	整理をしてください。で、1 回入れた上で云々って言われて、前回もそういうとそれでいいのかみたいな話をしましたが、今回の上田藤、丸野丸三つあるうちの一番下で、
0:39:09	適合性金か説明ができると、いうことをB4 というふうに言われているところに入る。
0:39:17	ものが何かというのをどう作業するかっていうことで、先ほどタジリの話から言うと、要求事項を、こうなりイ号なり、
0:39:28	分けていけばおのずと変更なくて変更ないと言ってこのBように簡単に入れられるものっていうのがいっぱいあるんだろうなというふうに思いますけど。
0:39:38	そこは作業プロセスなので、適宜整理をしていただければいいかなというふうに思います。

0:39:48	はい、石田でございます。はい、ありがとうございますはい。一番、
0:39:53	上野木山リスクとして考えなきゃいけないのが、加藤さんがおっしゃっていた受け身がないということだと思いますので、そういうことを、学生に作業文節を訓令採用させていただきたいと思います。以上です。
0:40:08	はい、古作です。あと、大抜け漏れがないのは当然の話で、作業で大事なものは、どういう説明が必要で、それがどれぐらいの量。
0:40:20	になるのか、どういうものが対象なのかと、いうことですから具体的な対象で、整理をすると言っていることも含め、わかるようにまとめていただければと思います。
0:40:34	はい、井上白尾でございますはい。ありがとうございます。正直私がここまで一生懸命説明してなかなか認識がなかった理由が、数字釣り合っと判明しまして、
0:40:46	農業関係にこれをまとめるかっていうところは多分意識があってなくてですね、ずれてたということで、
0:40:52	ポイントというか、何回も説明をして、理解をしてもらってると思ってます。はい。以上です。
0:40:59	はい。補足です。都築B3B4。
0:41:04	比較的単純なので、まとめて話をしたいと思いますけれども、
0:41:11	A、Bさんは変更もない、単純に手続き論として加わってきたと言うことで、多分認識は共有できていると思いますので、
0:41:23	どちらかというともB4側でこれも
0:41:27	条文で書かれていて、
0:41:30	ちょっと先ほどと同じような不安が、
0:41:32	あると。
0:41:34	いうところろうです。
0:41:37	で、特 2BtoBで一旦入れた上でっていう話だからこのポツの書き方は、
0:41:44	プロセスはどうかと思いつつも何か読めるんだらうなって気はしなくもないんですけど。
0:41:51	なおキーワん。
0:41:53	何かこれ日本語人としても何か変なんですけど、
0:41:57	スクリーニングの対象としないってどういう意味ですか。
0:42:08	看護部石山でございますちょっと誤解を与えてかつ何言っとなじやって話になっちゃってしまってるんですいませんこは、
0:42:15	当文章があるかどうかも含めて考えます。それを受けないということで適切に説明することが考えられてるかっていうことからすると、

0:42:27	僕の試験でなくても含めて、全体に対して説明してもいいかっていうのは当然
0:42:37	好みで動かすと言っても遠くの計数適合性を説明しなきゃいけない。大丈夫っていうことを説明しなきゃいけないのは、ものすごく当たりであるので、こういうことではなかなか厳しいってことは、
0:42:52	誤解を割愛するので、やめたいと思います。以上です。
0:42:56	はい。補足です。おそらく、B1Bにそもそも入らない。
0:43:01	はい。キー変更なし条文だけの対応設備とかがあって、ここまで拾いきれないので、書いていると、ということだと。
0:43:14	なんだと思いますので、であればポツを一つ変えて、
0:43:18	簡単にここに入りますよということで、先ほどと同じように具体的な対象っていうようなことを書いて、どっちに値するのか、なぜ説明が不要なのかっていう時に、
0:43:32	要求事項としての変更がなくて、ものも変更ないから当然ですよってことなのか。
0:43:37	何らかの条件変更の影響というのを語らなきゃいけないのかと。
0:43:43	要求事項の変更との関係を語らなきゃいけないのかということ、整理いただいたらいいのかなと思いますがいかがでしょうか。
0:43:51	はい。西田でございます。おっしゃっていただいたこと通りだと思います。Gでもなく、B1B2 円改造含めて入らない。
0:44:02	文献に門も加えじゃなくてかつ要求事項に対する適合性の説明もいらぬようなものを、
0:44:08	設備としてここにカウントされると思いますので別にした上で具体的に何が対象かっていうのは明らかにしたいと思います。以上です。
0:44:18	はい。補足です。8 ページは、
0:44:22	すいませんちょっと、何が言いたいのかっていう。
0:44:26	うのがよくわからないんですけど、なんでしたっけ。
0:44:32	はい、宮でございますこれは実
0:44:36	足らずかもしれませんが皆さんの施設共通基本設計方針と言って設立の一番仙波側に続けるようなものを取り込み、
0:44:47	なぜここでっていうか説明する上で別の表になりますけども明らかになっていますということで、それぞれその内訳に入ってくる一つ一つを見て、
0:44:57	関係性を設備研修するところが、栗栖プラス、
0:45:02	別にこの出て来ない人がいたとしても、これは昨日清がお話ありましたけど、設計を説明する上での観点、縦軸に言えば相当のか。

0:45:15	先週でしてこれ、これと一緒に説明しておきますところばかりをさせていただくということでございます。以上です。コサクです。なので、こういう小大であるからわからなくて、
0:45:27	先ほど言ったようにそれぞれの中で、具体的な対象と言いながら、説明すべきことっていうのを明確にしていくということの内数だと思うんです。
0:45:40	作業プロセスとしてはこれあるんですけど、そっちとの関係を意識して整理をしておかないとまた目的を見失うと、ということだと思いますのでよろしくお願いします。
0:45:51	で、含めが出るものわあ、含めた場所にそれがわかるようにすればいいんですけど、
0:45:58	含められないものについては、その条文の1ポツの説明の中でしっかりと対応すると。
0:46:06	ということだと思いますので、
0:46:10	それわあ、この紙に書く必要があるかどうかっていうのはちょっとわかりませんが、そういう点で、
0:46:19	補足いただければいいかなと。
0:46:22	何て言うんすかね。忘れないように、テイクノートしておくよ。
0:46:26	ということかと思えますのでよろしくお願いします。
0:46:30	はい石田でございます。網野。
0:46:35	考え方をまとめて作業を今スタートさせたという形。我々として検証することから考えると、そういうふうに分らかにすることの作業も必要になると思っていますので、
0:46:47	入れた上で楯式で
0:46:52	整理ができるようにさせていただきたいと思えます。以上です。
0:46:57	はい、補足です他ありますか。
0:47:02	はい。じゃ、ちょっと予想よりも大分時間をかけてしまったので、次の話をお願いします。何か振替これだけします。
0:47:11	いいですかね。
0:47:12	外科なんか振り返りというか確認しておきたいことありますか。
0:47:19	石田でございますえっと、
0:47:22	岩上さん、藪ってか最終的なすっきりかもありますのではい。大丈夫です。はい。
0:47:28	はい。また
0:47:30	適時行っていただくのとスケジュールを連絡してっていうところは、

0:47:35	お願いをしたいので。はい。ちょっと今のスケジュールに関してなんですけど、これって、会合までにどこまで行けそうだと今原燃見積もってますか、会合時点で、数が立てそうなぐらいの今進捗なのか、それとも、
0:47:49	その時点では作業中ぐらいの今、もはやレベルになってるかというところですかね。
0:47:54	江崎新村でございます。
0:47:59	その考え方の整理に大分時間押してしまいましたが審査会合までには、次終わって、明確に答えを出せるようにさせていただきたいと思えますあとそのスケジュール感、
0:48:14	次長審査会合の発言でますので、スケジュールも学部して連絡させていただきたいと思えます以上です。はい、規制庁という今おっしゃっていただいたように何か数字いきなり所見で介護がやったんでよろしくお願ひします。
0:48:32	はい。補足です。では、
0:48:34	原燃から次の話題について、状況を説明していただけますか。
0:48:41	はい、茂木西田でございます。
0:48:44	新規であったり、改造だったりの設備、いわゆる審査会合でゆびがBIIとかの部分、説明するんですね。そこに入っているものも、
0:48:57	今後も適合性の説明の上で、必要がある情報をしっかりと周期だったり改造だったり、あと管理する場が何かということ整理をして、
0:49:08	資料を収集させていただくと、お話をさせていただいてございました。
0:49:13	考え方としては新規については当然ながら新しく作るということで、その新規の設備が何かということとその設備を作る上で関連する条文の適合性度設計方針を説明しないといけないような条文であるかと。
0:49:33	もっと明らかにした上で、それぞれの条文ごとに要求事項と、それを達成するために関係関係する基本設計方針を並べた上で、それを
0:49:44	達成するために具体的な設計をしているのかということと並べて、増幅した上で整理をさせていただくということと考えてございます。
0:49:57	長選手が先週ですかね、外部衝撃に関係する部分の資料を出しました。今の考え方に沿って、外部書類関係の資料の修正を進めさせていただいてますので、
0:50:10	それで大枠整理できればそれぞれ順次持たしていくという作業をさせていただきます。その資料自体も、研究員ちょっとチェックとかもありますんで、
0:50:23	月曜日にはお出しをしたいかなと思ってます。それプラス新規のものを作らないといけないものは当然解消関係では、だけではありませんね。

0:50:33	大きくコートっていうのは1寸火災を重大事故ですかね、大きな枠を取ってます例年求め方をするかについてはあまり細切れにしてチラシを見てください。中小見てくださいっていう情報適合性を説明する入口の
0:50:54	牛尾木場各市長と説明しているうちに入らないので、そのまとまりを決めた上で整理をさせていただきたいと思ってました。
0:51:05	今考えてますのは大きな枠っていう今の外部書類関係のやつ、あと溢水関係。
0:51:15	火災関係、生来性ということでまとめて整理をして、資料の提示をさせていただきたいと思ってます。
0:51:24	そこに入らないということで出てきた場合も当然何らか拾う付けた上で、どこか資料に寄って例えば説明をするとかですね、ということで合理的な説明を目指していきたいと思ってます。
0:51:37	一方、聞こえなかった、開閉を決めたところ、K系でございます。
0:51:43	これについてはこれは
0:51:46	そうしないといけないとうたった状況の認可があるはずなので、その状況との疲労づけをした上で、グルーピングをして、資料をお出ししたいと思ってます。
0:51:57	私の資料は欠けてるかもしれませんが考える、大きく二つでいいかと思ってます。地域関係で、評価を踏まえた上で、補填しているようなもの。
0:52:11	家庭の利益のグループですねということと、あともう一つは、SA関係のために、部品の設備を改造して、とりあえず作ったりしているもの、例えば枠として大きく占めているんじゃないかなど。
0:52:24	ということで頑張ってます航空、海上関係で大事なものは、改善弁の改造するかは当然そうなんですけども改造することによってもととの要求事項に対して、
0:52:37	適合をするような形にしかなっているか。
0:52:41	していないかということを説明しないといけないですので本当の結果現場ってのは何のためにその改造したのか、具体的に改造したのか、それに対してその当該もととの設備が、
0:52:53	教職をかけられているのか、それに対して、評価内容ということもしくはこういう方針で設計を展開をしていますということがわかりやすい資料を作って、提示をさせていただきたいと思ってます。
0:53:08	具体的なものがちょっとまだ資料がうまく出せておらず、恐縮でございますが、先ほど一斉については、資料、今の段階でありますドラフトを出させていただきました。
0:53:22	今口頭で申し上げたような形でそれぞれ共通的なフォーマットなり整理をさせていただきます。

0:53:29	ございました。以上です。
0:53:33	古作です。大枠の考えは理解できたんですけど、改造の関係で耐震補強等S AでのDBトライアイとと。
0:53:44	ということで、大枠もうはそうかなと思いつつもですね耐震補強については、今日提示いただいている、1 水源から除外する設備と言ってるところが大きくて、
0:53:59	これは明示的に言ってもらわないといけないかなと思ってます。
0:54:03	ただ、補強の仕方みたいな話になる等耐震補強、耐震の説明と合わせてやっていただいた方が合理的だと思うので、
0:54:14	それをどういうふうに話をしていくかということじゃないかなと思いますが、
0:54:19	何かお考えあります。
0:54:22	はい上西でございます。はい。新規の改造ですね当然僕としている経過がいいということで先ほどおっしゃっていただいた制限の話を正しく
0:54:34	唱和等があるものだと思ってます。やっぱりさっき、前回の耐震のヒアリングでも、1 ポツである気にかかる変更点みたいな話をすると。
0:54:46	あと、そこはいわゆる基準とか変更点として耐震は使えなくなってる当然設備の改造とか構造変更だけではないです。例えば、目的を変えたとか、均等定式化していたん変えましたとかという、
0:55:03	これも上、耐震の浅部の時の変更等については耐震化でやらせていただきます。耐震のそのインプット等の情報をこの新規開業設備の説明の中で挙げさせていただくということかなと。
0:55:16	山下、経営することによって勉強したのか、多分例えば会館ではTPPのところ。例えば、支持をふやして行動を変えましたとかですね。
0:55:29	といったことの情報インポートであれば、来週はキャッチアップができるのかなということで、そういう整理をしていこうかなと思ってました。ただ、ただ、壁がんじゃないかというそうなんですけど、しっかりと壁を残して共通認識を持って作業ができるようにしたいと思ってたところでした。以上です。
0:55:49	はい。古作です。今日提示の資料だと、具体的にそれが何かっていうのはリストアップしますと、それが適切かどうかは耐震計算書は説明書に飛ばしますと、
0:56:04	なっていくつ、例示としてずー第 3-1 図と、
0:56:10	いうふうになっていて、これはあくまで例示でしかないの、具体は耐震側で話を聞いてってということかなと理解をしました。
0:56:20	して、数ですか。その認識でいいですか。そんな感じで。はい。西浦でございます我々が入ってもそうです。あとはそれを、

0:56:31	レイオフっていう出し方があんま心がけとかどうかちょっと関係者できるのが必要だと思ってます。はい。
0:56:41	はい。コサクです、このあたりもうす会合で説明いただきたいところなんですけど、今言ったところの部隊は、耐震で実際に2-1に入っていくタイミングで聞く方が、
0:56:53	いいかなと思っています。
0:56:58	はい。飯野イシハラでございます。そ、思っておりますと言いながら、昨日出したスケジュールがそうなくてですね。
0:57:07	急い修正をした上でお話をさせていただくようにしたいと思います。
0:57:12	何かというのは具体的にはですね金融機関の変更点とかというのが、今一度カウントされてて予測になってるということを前回シェアって話をしたはずなんですけど、そこが合っていないのとあとは、
0:57:27	現物の説明をちゃんとするんだと、それ、それぞれ絡みキャッチアップのところをどういう形でやるんだということが具体化されていないという現状ですね、なっていますので、そこを明確にした上で、スケジュールは、
0:57:39	再度提示をさせていただきたいと思ってました。以上です。
0:57:43	はい。補足です私が耐震の2-1の時にと言ったのは補強の仕方とかっていうことについて、登場人物っていう意味では、当然早く、
0:57:54	そちらが最優先でって言われてるんですから早くCAQに確認していくことだろうなど。
0:57:59	思ってます。
0:58:03	で、先走っちゃうとそれでスケジュールはみたいなことになっちゃうんですけど、スケジュールの前に何か確認しておきたいことなりあればどうぞ。規制庁の田尻です。
0:58:13	この溢水限ってという話でもないんですけどDBとSAの関連でどうするかってところで一応認識合わせしておきたいんですけど、今今日出された資料で今の配管の補強の話だとSs機能維持っていう話が出てきていて、
0:58:27	これはDBだからまず石津って話をしてるのか、それともSA条件下において%溢水量が増えたとしてもSs機能維持までしかやらないっていう宣言なのかとかがよくわからなくて、
0:58:38	他の条文も含めてなんですけど、割とSAの条文から各DBの条文に飛んできてそっちへ概略説明しますよっていうふうになった時はまとめて整理されてもいいのかなと思うところがあるんですけど、その辺りっていうのはどうしてこうとされてますか。

0:58:55	はい石原でございます。はい。これは前回向井でもそうですスケジュールを示した件議論になっている。
0:59:05	これを規制でやらなきゃいけないことがBだけではなく、SAの関係でもあるので、それはジョイントして、その溢水としての説明が完結しないと意味がないかなと思ってます。ただ後は、
0:59:19	インプットになるSAの説明とのリンクでスケジュール状況になるかということだと思ってますので、そこら辺、この資料として全体額等を説明しなきゃいけないのか、あと、どういう部分が今後、
0:59:34	何とのリンクで追加されるのかっていうのはちゃんと明確にするってこと、かつスケジュール上もそういうことがわかるようにさせていただくってことが必要かなと思ってました。以上です。
0:59:43	はい、規制庁の鳥井です上の方での整理も当然重要だとは思ってるんですけど要は入力が入力が全部変わってきてしまう等、せっかくDBでやってたけど結局それより厳しいSAの1.2Ssきましたっていうふうになると、
0:59:56	いややり直すのかみたいな感じになっちゃうんで追加で簡単に説明できるっちゃうやつだったら特にこだわりもないんですけど、2度手間にならないように、冒頭の整理をしっかりと早めにしていただいて、
1:00:07	すべてがカチッと決まらなくてももうやるんだっていうふうな方針さえ決まっていればやって整理してしまえばいいんじゃないかなっていう思うところもあるので、よろしくお願いします。
1:00:17	はい石原でございますはい。承知しました先ほど私が全体の枠にどうするか、どういうところで説明するかっていう、ベースのものが共通すると思いますので、
1:00:29	ちゃんと紙を起こして、共通認識を持って作業ができるようにということと、あと規制庁さんにも収集して、方向性ずれてないかということも含めて確認をさせていただくステップを、
1:00:40	早急に設けたいと思います以上です。
1:00:44	コサクです。今の点、
1:00:47	あまりシリーズにやる必要もないかなと思っていて、ほぼ自明なのです。
1:00:54	原燃においてはもう申請もしているわけだから、どれが対象かわかっているはずで、さっさと作ってしまえばいいと。で、並行して説明すればいいので、
1:01:06	ずれるとまたよくわかんなくなっちゃうからっていうことなだけですからよろしくお願いします。で、正当。外部衝撃大分
1:01:16	自所の対策というところで、それぞれ整理をされるということですけど、つなぎとしてわあ、その対象範囲がどこかと。

1:01:25	いうことはSAで言ってあげないと受けられないと思うんですけど、対象が明確になれば、その対象度がどういうもので、どうしていくかというのは、
1:01:35	対策側、溢水なり、火災なりという方で説明をいただけるんだと思いますのでその抽出だけをSAでしっかりやると。
1:01:45	いうことかなと思いますが、認識は合ってますか。はい、石田でございます。この考え方は同じです。
1:01:57	はい。わかりました今日提示いただいた重大事故の方の資料を見るとその辺り、いまいち
1:02:06	どうしていくのかが整理まだできてないのかなっていう気がしたので、その繋がりがわかるように書き込んでいただいて、
1:02:16	ていうことで、
1:02:18	すかね、
1:02:20	はい、三浦でございますはい。重大事故構造仕様の当然物を全部だということ自体が、まず書かれてないところもあるので、そこをちゃんと整理をしてどういう骨格でというのをちゃんと関係者を含めて、統一して、
1:02:38	やりたいと思います。はい。
1:02:41	規制庁の田尻です。若干関連してなんですけどさっき、改造とか新規物とかが今もてに出てくるんですけど性との絡みでいうと、例えば火災の感知器とかは、SA申し出てもすぐさま動くから大丈夫っていう運用でカバーしてるってのはその説明にはなると思うんですけど。
1:02:57	要は設備で、改造とかが発生しないから説明なくて、最終的に本当にそれでいいのかって議論が後で発生すると面倒くさいので、それぞれ何か運用でカバーしてるからいらぬという整理なのかそもそも、SA時に期待しませんよっていう整理なのかいろいろあるとは思んですけど、
1:03:13	そこらの考え方もどっかで書く十分聞きたいと思ってるのでよろしくお願いします。
1:03:19	はい。てる伊シハラでございますはい。どこのステージでどういう、自分ごとにならなきゃいけないことは当然だと思ってますので、基本方針、
1:03:30	の枠以内で従来事例というか、東田っていうのかどうかあれですけど、というのはちゃんと明らかにした上で説明が必要だという認識がございますはい。
1:03:52	はい。政調会でよろしくお願いたします。この案件は他にどなたか何かありますか。
1:04:04	えっと、
1:04:05	あれ規制庁たですなさそうであれば次の案件ですけど条文、説明書の整理でしたっけ。

1:04:20	日本原燃のホリグチSs-Aの進め方について昨日コメントいただいた部分に関して、
1:04:26	説明をしたいと思いますけどよろしいでしょうか。
1:04:30	どうぞ。
1:04:31	す、今日説明したいことは3点ありまして、一つ目が共通00の作業の方針概略方針、そして二つ目が、昨日十時17-5ページの矢印について、
1:04:43	イシハラより対比表5段表を作って、繋がりを明確にするっていうことで、この説明後3番目としては十時0036条に関してどんな修正をしてるのかっていうふうなところで、梅田作業が落ちてるんじゃないかという懸念があるということで、
1:04:57	こちらの、どんなことをしてるかっていう簡単な説明をしたいと思います。
1:05:02	まず1番目として共通00の作業方針、概略の作業方針についてですけども、まず別紙1で、有効性の部分本文の8号と添付書類8、
1:05:13	比較本部4号と今ある基本設計方針との比較を行いましてそれで、
1:05:20	有効性評価を取り込むべきところがあるかないかってところの確認をいたします。
1:05:25	この部分に関して、
1:05:28	こちらをつつ資料を作成してから2月7日を目標に1度、層厚ホールドポイントとして資料を提出させていただいて、これを代表として39条の別紙1の、
1:05:40	①の別添として資料の改訂をしてそれでお出してそれで資料の確認をいただきたいなと思いますそれで、方向性が合っているということであると。
1:05:51	別紙1の①の修正版に関して別紙1反映しまして、この2月9日に改訂版として提出をしようと思ってます。
1:06:01	そしてその別紙1の改訂としてこれを別紙に取り込みまして、共通09との比較を行いましてね、設備の抜け漏れがないかということを確認いたします。
1:06:11	そして別紙1から今度、市長別紙をまず先行してやるべきだなと考えておりました別紙1のは、多くの先として別紙4として、
1:06:20	39条の方を今代表としますけども共通、本文、ベストのこは今日、本文の1章共通項目に小個別項目に対して添付書類との繋がり、また添付書類と添付書類間の繋がりが、
1:06:36	情報のやりとりとしてちゃんとバツと受け渡しできてるかっていうことの比較を対比を作りましてそれで、
1:06:42	確認をいたしますとそうすることによってちょっと2番ともかぶるんですけども、十字機能の十時17の矢印の向きだとかの矢印に足りないところがないかってことの確認ができると思っています。

1:06:56	こちらを 39 条例にして、2 月の 13 日を目標に提出をしたいと考えてます。
1:07:02	そして 2 月 13 日に提出して、説明ご確認をさせていただいてその結果、
1:07:10	しながら、今度別紙 2 別紙 3 別紙 4 別紙 5 あと別紙 6 別紙 1 それぞれに修正の展開をしていきたいと考えています。
1:07:21	共通 00 の概略の作業方針に関してとあと、
1:07:26	対比表十時 175 ページの矢印に関する対比表の説明。
1:07:32	以上になります。そして 10 時 00 の、今、修正作業してるってことに関しては何を一体してるのかというと、すでに見自分たちでこの例えば別紙 1 で稼がなかったり、
1:07:46	この吹き出しの部分の説明が足りないなと前回ご指摘いただいた部分の他にも、
1:07:51	自分たちで再度確認した際に気づいている誤りっていうふうなところだったり説明の定例性をかけているというところに関して、資料の修正をしているところでした中身に関して、
1:08:03	いろいろ説明前に、
1:08:06	めくり回せるといいますかいろいろいじっているわけではありません。
1:08:10	はい。結句説明は以上になります。
1:08:14	規制庁の藤原です。まず 1 点確認したいんですけど、別紙 1 の話で、衛藤。
1:08:21	許可の 8 号とかの、
1:08:23	溶け込まっていうか呼び込み呼び込むじゃないか、それを入れたものを修正されてっていったところで 39 条について、2 月 7 日に出されるっていう話。
1:08:35	が、今、認識したんですけど、それで合ってますか。
1:08:39	はい。日本原燃の堀切です。はい。2 月 7 日に 39 条代表として、出したいと考えています。
1:08:48	以上です。規制庁の広瀬昨日のヒアリングだと、
1:08:52	瀬口の資料、
1:08:54	観光と水素と水供給なんかを提出する話みたいなものも聞いてた気がするんですけどそれとの関係ってどうなります。
1:09:08	日本原燃のタマウチでございます。
1:09:11	ちょっと及び 2 月 6 日に水と
1:09:15	観光と水産も 00 を出すというふうに申してたんですけど、
1:09:19	まずですねやはり部分的に
1:09:22	基本方針に、事業変更許可の本文 8 号ですとか、添付書類 8 号、
1:09:28	そうですね取り込み方。

1:09:30	しっかりできてるかどうかっていうのを、
1:09:32	方針確認した上でですね、しっかり基本方針別紙1を固めたいと考えまして、それでちょっと考えを改めてなのかというふうにお話をしています。以上です。すいませんコサクです。
1:09:45	タマウチさんは作業をされてるから、作業を一つ一つやりたいと思われてるんでしょうけど、原燃として、
1:09:53	どう審査会合で説明していきたいかということ踏まえた、
1:09:59	説明になってないような気がしていて、
1:10:03	先ほどのその節Bの構造概要っていうのを説明するというためにも、1ポツの説明は必要だったりして、
1:10:15	それと並行しての状況ということで、
1:10:21	基本設計方針をもむというようなプロセスだったり、或いは補足説明資料をブラッシュアップすると。
1:10:27	いう意味とそちらの意味とっていうのは並行してやれることがあるのじゃないかなってということで、取り急ぎやらなきゃいけないことっていうのもこちらはイメージして話をしてたんですけど。
1:10:43	そこの辺りちゃんとセガワさんとかと話をしているんでしょうか。
1:10:49	日本原燃の瀬川です。
1:10:52	ちょっと私も誤解をしちゃっていたところがありましてちょっと作業プロセス、変な方向に行かないように、
1:11:00	きちんとホールドポイントを置いてといったところにちょっと意識が集中し過ぎちゃったところがあります。もともと6日にお出しをすると言っていたところは、
1:11:10	8号の取り込みで、もうここは間違いなく取り込まなきゃいけないだろうとわかっていたところ、そこは、別紙1のところにきちんと取り込みの姿を見せて、6日にお出ししようと考えていたところ。ただ一方で、
1:11:26	議論になっていたところですね、そこは明確に取り込むんですけども、他に取るべき観点があるから8号からなのかといったところ。
1:11:37	そこもやはりきちんと、他はもう取り込み必要ないよといったところもあわせてお示ししないといけないというふうになってしまっておりまして、まずはその認識を合わせてから別紙人への取り込み、
1:11:51	だなというふうにならなくなってしまいました。ただ、ちょっとまさにあの会合のことを考えればですね、まず明らかにわかっているところはさっさと取り込んだ形を見せつつ、

1:12:02	並行して、他に抜け漏れがないよねというのは遠いでまた改めて、00 資料改訂かけて、必要な情報を付加してですね、ご説明するというプロセスの方が合理的だろうというふうにちょっと感じました。はい。以上です。
1:12:20	はい。コサクです。7 のまず、先行して 3 条文ですかね。
1:12:27	34、34。
1:12:32	10 時は、
1:12:33	十時はそもそも先行してあって、
1:12:38	それ以外の条文として三つって意味ですかね。
1:12:43	はい、その認識ハセガワですその認識です。
1:12:49	十時の
1:12:50	方は、8 号、
1:12:52	アジアだから先行してあってと。
1:12:57	はい、古作です。もう大体、今の認識のずれは是正できたんだろうと思いますので、具体のスケジュールはまた事務的に連絡をいただいたり、
1:13:09	いうことで、
1:13:11	整理をいただき、また
1:13:14	会合で何を説明するのかということですけど、
1:13:21	と個別にはその他に何かありますか。
1:13:29	その評価の救急の藤村です。だんだん強化の話で、それが一発目が 2 月 13 日に提出みたいなことを、
1:13:39	言われてるんですけど、
1:13:41	一方、ここまで、
1:13:43	こちらでも回れます。
1:13:47	ちょっと何か、
1:13:48	一般的にもう少し何か、
1:13:50	早めに、
1:13:52	1 例のリビング医師一条文なりの、古作です。それって言うと、埋め込む前に、関連図の修正があって、それに合わせて、
1:14:05	こういう比較表を作って説明していくつもりですっていう作業方針を来週早々にでも、
1:14:14	対応されるといいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:14:20	はい。日本原燃のタマウチです。当初ですね 2 月 13 と申したのは、基本設計方針、

1:14:26	取り込んだの会長者と取り込んだ上で、ちょっと先ほどスケジュールを考えたので申し上げてしまったんですが、
1:14:33	おっしゃる通りで、まずですね、こちらの別紙4の作業も並行していきますので、主に関係図を修正させていただいて、それに対して。例えば、
1:14:45	括弧の方で基本設計方針と個別方針に、
1:14:48	の真ん中の添付書類として
1:14:51	だいたい安全冷却水系のマップですかね、その点から、ここに具体的に飛んでるのかっていうチェック表を出すというような形で進めたいと考えます。以上です。
1:15:01	はい。よろしく申し上げます。先週からのヒアリングの経験として、原燃担当者が考えてることは正しいんだと。
1:15:12	思い込んでやった挙げ句、間違っていたということでやり直しという無駄時間を削減するというのが一番原燃の今の対応状況として必要だと。
1:15:24	認識をしていただければいいかなと思いますので、よろしく申し上げます。
1:15:33	古作です。その上で、
1:15:37	次回の会合ってどこまでやるつもりなのかっていうのまだ聞けてないような気がするんですけど。
1:15:43	どうなってます。
1:15:52	はい、上西でございます。前正副名、前回2000的に進めさせていただきたいと言ったのが、
1:16:03	申請対象設備それぞれの条文との何があるかということ、あとそれぞれによる事業であったりというふうな分類をしますと、
1:16:15	いうこと、あとは1ポツですね。
1:16:18	説明後の1の説明と、
1:16:21	ことを、優先的な情報として故意性も上げてやりましたけども、1発すん。
1:16:30	先ほどの信金の設備であったり改善設備っていう項目を明らかにしてかつ、どの条文幅と私が必要か構造としてどういう設計なのかと。
1:16:42	使うことによって最初の項目は、ある程度アウトプットが見える化できるとただそれもフィニッシュするかどうかはあやしいかなと思ってますので、
1:16:52	入口に入れたというようなことかなと思います先方のところ、例えば今、36条であったり、代表的な条文でまずC値含めた展開を、
1:17:07	見始めるというところで、ただ、これもほとんど、
1:17:11	ベシアのう国政はもう決まっていますんでそれぞれ説明しなきゃいけないのあと重大事故結構条文間の部分か添付書類間の構成が複雑なんで、そういったことをちゃんと

1:17:22	もうこういう形でやるんだというところを、
1:17:28	上がれる範囲かなというふうに思ってますんでそれぞれの部分で何ができ かっていうのを1度、どっかに戻して来週して、私ども、
1:17:40	滝あったになっちゃうかもしれませんが、審査会後までにやることかと。
1:17:48	使用させていただきたいと思います。以上です。
1:17:52	規制庁の藤原です。
1:17:54	わかりました。江藤。じゃあ、来週って言ってましたっけ、衛藤カミデ起こしたも のってというのは、私の早々にいただける感じですかね。
1:18:06	田井上西屋でございます
1:18:10	多分清だけというわけではない気もしますので全体で整理をして来週の早いう ちにお出しをしたいと思います。はい。
1:18:21	規制庁の田尻です。ちょっと頭整理しておきたいんですけど
1:18:25	会合が21ぐらいをめぐりにやっていてそれぐらいまでに2回ぐらいヒアリングす るとして、1回目の資料提出がいつで1ヶ月ヒアリングはいつのイメージでした っけ今。
1:18:40	はい、西田でございます。審査会合の資料がですね抜かと言ってる話なの でそれとちょっとダンピングに出すという意味で、
1:18:51	難しくそれは審査会合までに説明をしていかないといけないして、
1:18:59	明らかにするということだと思いますので、ぜひに、ダイエツ、示していたのを 示していきたいと思います。江尻層中、
1:19:12	岡部小野かとか、
1:19:17	他の資料を提示して、9日分しかどうかといったところでヒアリングというのが、 1回目のステージだと思ってました。以上です。
1:19:27	はい、規制庁谷列間のカード時点で介護資料事件のものが出てきては、90っ て言われましたけど8から10のどっかでっていうイメージなんだと思いました と。
1:19:37	基本的にやる項目もはっきりさしていきたいというところがあって前回会合のと ころで、設立の関係の話でちゃんとできてなかったんで、今日の一番最初にや りましたけどその話と、
1:19:49	当設備構造っていう名前でやってはいますけど、今一緒のところでは話があつた ように、各条文の進捗何やってんだっていうところをそれぞれ説明できるところ を説明するのかなっていうイメージがあります。
1:20:00	今日この後やる地盤モデルの話最新やるのと、DBに関してまずこういったと ころはやってますよっていうさっきの設備構造の話も多少関連づけながらやっ

	<p>てってるんですよとこういう進め方でやっていこうと思ってますよというのを示されつつで、</p>
1:20:12	<p>清に関しては今のお話のようなところを指名されて、こういうふうに進めていこうと思ってるんですぐらいの中身で地盤モデルのところだけ少し中身を踏み込んでぐらいが今の状況ですかね。</p>
1:20:24	<p>はい。ミニ社でございます。地盤のレベルがどこまでいけるかちょっとまだ何も言えないですけどおっしゃっていただいたりそういうことを、次回説明できる形かなと思ってますこういうことを説明していますということですね、状況としては、はい。はい。規制庁鳥井です。そこらは</p>
1:20:42	<p>調べたタイミングでわかると思うんですけど介護、結局ヒアリングでやった内容の会合で議論しなきゃいけないやつがまとめられてっていう形だとは思ってはいるんですけど、</p>
1:20:53	<p>ヒアリングでどの資料でやるか会合でどれを示すかっていうのははっきりしていっていただければと思います。あと、このままとした話では何か溢水の方で評価漏れがあったとかどうのこうのってそんな話も、</p>
1:21:03	<p>あれしますよってやつも、結局いつ僕らって話が聞けるんだらうと思いつながり待ってる状況なので、細々としたやつも拾い漏れがないようにだけ対策できればと思うんでよろしくをお願いします。</p>
1:21:14	<p>はい石田でございます。その 1000 件も、委員恐縮です。私がまだ話を聞いてなくて、その上で話ができるようにさせていただきますはい。</p>
1:21:27	<p>遠藤東吾担当他にも申し上げる中で、これはご説明をしないということでお互い話をしてたものが抜けなく、スキー場に入れて説明ができるようにさせていただきます。はい。</p>
1:21:42	<p>はい。規制庁谷ですよろしくをお願いします。ちなみに、</p>
1:21:46	<p>あれ、前回どこまでかという曲は定かでないんで一応聞いておくんですけど、申請書でミスがたくさんありましたっていう話と、今の溢水とかの話も関連付けてこういうふうにちゃんとやってるんですよっていうのを、途中経過を含めていろいろ話があると思えばいいですかね。</p>
1:22:04	<p>綾部とかの申請書で不備があってそこも踏まえてそこにはちゃんとやってんですよとかいうやつは何か適宜フォローしていくようなイメージだったかなと思いつつなんですけどそこも含めて、今回の 1 のやつも関連づけて説明するかね、</p>
1:22:18	<p>日本原燃の佐藤です。はい。ちょっとぜひ申請書の数</p>
1:22:25	<p>話はまだ大きな話前回までずっと対策系で話はちょっとでき、</p>
1:22:31	<p>次回の会議はもちろんできないんですけども、しっかりそこで今回のやつも含めて対応していきますという話まではしていただこうと思ってます。</p>

1:22:42	規制庁鳥井です。その辺りも含めて結局何し、何を話そうとしてるのかっていうのがわかるように、前回会合から1ヶ月ではあるんですけど、
1:22:50	進捗したものは進捗したらしいやれてないものはやってないだし、そこらの状況把握できればと思うんでよろしくをお願いします。自分からは以上です。
1:23:02	はい。その他、規制庁側から何か本件ありますでしょうか。
1:23:07	よろしいでしょうか。
1:23:09	振り返りも特に下ね不要でしょうか。
1:23:15	はいユニシアでございますはい。こちらから不要ですっていうのも、何か壊れそうな気がしますけどはい。大丈夫です。
1:23:26	はい。
1:23:28	社長竹田です。はい、わかりました。それでは今以上とさせていただきます、続いて2場モデルの方に入りたいと思っておりますが、
1:23:38	ハセガワ管理課音声聞こえておりますでしょうか。
1:23:44	聞こえてますよ。いや、ここで見るは拝承しました。
1:23:49	それでは原理の方で地盤モデルの方の説明、進んでいただいてよろしいですか。
1:23:56	はい。委員投資でございます。本日といたしましては31日のですねヒアリングを受けまして、今直下地盤部分の検討の方ですね改善検討を鋭意進めているところでございますのでそちらの方、そこという形の方でご説明の方させていただきたいというふうに思っております。
1:24:14	蒲生教諭の阿部といたしまして今現在ですね品証確認中になってございますのでこちらの方の資料に関しましては月曜日にですね、品証価格次第ですね正式に資料として提出の方させていただきたいと思っております。
1:24:28	その本質をいたしましては画面共有という形の方で、資料の方を画面の方で共有させていただいて、内容の方を説明させていただきたいというふうに思います。
1:24:51	セガワですけど、
1:24:53	あ、すみません、余計な説明いらさないから、結果もう見して、
1:25:00	了解いたしました。
1:25:02	ほんでいちいちパワポなんか作なくていいから、
1:25:14	あれ、今ちょっと画面の方で協議させていただきました。こちらの方はですね今、最速でやっておりますF施設周辺の方ですね、検討結果という形になってございます。
1:25:28	それで上段の方が、水平方向の結果で破断のほうが鉛直方向の結果という形になってございます。

1:25:38	凡例といたしまして赤で示しておりますのが業務拡大してあり、
1:25:44	下も、
1:25:57	もういいよ、それでこれどこのやつやったの。
1:26:02	最初にちょっと平面図で、
1:26:04	やはり、
1:26:07	原田データとか、
1:26:11	こちらの方がございまして今回実施しましたが、こちらの方のF施設周辺という形になっているものになってございます。
1:26:22	もう説明はいい、いいよ。
1:26:25	次どれやんの。
1:26:27	はい。今、その次の工程としましてはその下のですねA周辺といったところに今着手の方を進めているという状況でございます。
1:26:36	これさ、
1:26:40	排気塔みたいなのがあるんじゃない、NUこれ、これどうなってんの。
1:26:45	ちょっともうちょっと拡大して、
1:26:53	この主排気塔っていうのはどういう位置付けになって、
1:26:59	この間の 31 日に
1:27:04	さしていただいたところで例えば周辺のをですねまず見ていこうというようなお話で、
1:27:11	行っていたところがございましたので私のところとしましてはこの周辺といったところで、経営建屋とたとえ見立てはフィーダで、B主排気塔はどうすんだ。
1:27:28	はい。
1:27:29	すいません前回の時にちょっとこちらの方の資料 1 の部分が、今、やっぱりいろんな形で今考えておりましたけどもグループ、
1:27:37	法律で考えるとその手法においてもですね含んだ形の方で整理した方がいいかなと。
1:27:44	はい、了解いたしましたはい。
1:27:50	それ喫煙の月曜日、
1:27:56	丹土橋でございます今、現状のですね工程でいきますと、品証に努めたところですね確認を行かない。
1:28:04	いらない。
1:28:06	行きますと作業の期間としまして、見積もってですね今水曜日ぐらいがですね最速で出せるのかなといったところで考えてございます。
1:28:15	なんで、

1:28:16	現在それでいいの。
1:28:23	元がよければいいけど、
1:28:34	はい。今に、当然、設計さんとかです調整をしながらですね
1:28:41	やってる品証も含めながらですね、実際にこの周辺を作っていくという形になってきますと最初の方でうちの方に絶対出てくるといったところを先ほど申し上げたところ水曜日の方が少し、
1:28:55	先ほど期間を考えると、
1:29:01	そういう機会になるといったところを今調整しているところでございます。
1:29:12	木内浜崎です。まず、今日FAの話、後からちょっと中身についてもお聞きしたいところなんですけども、FAについてはあれですか。ヒンショウを含めて月曜日に出るといような話ですか。まず、
1:29:27	見通しでございます。おっしゃる通りでございます。
1:29:30	それ以外の方、ちょっと今やられてるっていう話だったんですけど、一昨日、31%は前の打ち合わせだと炭鉱一つの
1:29:42	PS珪藻のあるところを中心に例えばA. Cとかですね、
1:29:47	そういったものを先に進めるっていう話だったかと思うんですけども、今をやっているっていうのはそれは仕方ないんですけども、今日、こういう形で説明の途中をですね
1:29:59	画面で見せていただいているということなんですけども、
1:30:03	同じような位置付けで月曜日までにですねまだ品証はまだ未了ですという状況で、月曜の断面でもう、
1:30:14	一緒に提出してもらおうということは無理でしょうか。
1:30:25	可児小橋でございます。今ちょっと
1:30:30	大崎さんの作業もございましてちょっと月曜日となりますとちょっと作業期間として、
1:30:38	主な作業とか、窓などところに品証というところを入れてはいるんですけどもちょっと日曜日の作業とかになって参りますので、可能ですという
1:30:49	火曜日に、
1:30:51	水曜日といったところを市にちょっと前倒しをさせていただいて、火曜日といったところが、
1:30:56	会食かなというふうに思っております。
1:30:59	セガワですけど、通したね。
1:31:02	ねえ。いやいや、原燃のスタイルでやればいいよ。
1:31:06	1週間でも2週間でもかけてやればいだけだから、別に我々、早く見たいわけじゃなくて、

1:31:13	年が早く見極めつけたいだろうからっていう意図だけだから、そんなに別に見極めどうでもよければ、ゆっくりやったらいいです。以上。
1:31:24	もう工程については言わない。
1:31:31	はい、梅林でございます。宇宙ですねこの部分の工程に関しては作業をですね 0℃であり、
1:31:41	ねえ。
1:31:43	工程についてはもう2度と言わないけれども、あなたたちのやろうとしてる工程には絶対間に合わない以上、
1:31:50	必要な説明は、ちゃんとしてもらうかなそのつもりで、
1:32:00	はい。日本原燃松本です。
1:32:04	ちょっと富樫が言いかけてましたけども、工程については、見直して前倒ししていきたいと思います。以上です。
1:32:18	規制庁浜崎ですちょっと中身の話、確認していいですか。
1:32:23	さっきの水平でもいいんでスペクトルの比較をお願いします。
1:32:29	はい。
1:32:31	これ、解析条件確認します。ちょっと線の種類を見えるようにもうちょっと下げてもらっていいですか。
1:32:40	ちょ。
1:32:42	府上げるんじゃないなくて下げてもらって、それでいや、
1:32:47	まず赤間中央地盤モデルっていうことは、いわゆる平均後の平均値を使ったモデルの結果で、青が黒かそれが直下地盤モデルということですねで、
1:33:00	まず直下地盤の計算方法ですけども、これMOXと同じことをやってるという理解でいいですかすなわち、表層の表層といいますかねたFA建物直下或いは表、周辺の表層地盤に関しては、
1:33:17	その検査試験結果を用いている中央地盤の、いわゆる市立の梅田の物性値ではないという理解でまずいいですか。
1:33:28	富樫でございます。こちらの方の条件関係に関しまして1日難しいお話させていただいたところでございますけどもまず結論から申し上げますと、
1:33:40	定例の勤務というのではなくてですね今使っております見落とし等といったところでは敷地全体の値のみを今使っているといったところでございます。
1:33:50	規制庁浜崎です。それは、
1:33:53	今回、時間もなかったということ、今回はそういう条件なんですけども、いずれその表層はFA周辺の表層の試験結果を用いる方向でまた、
1:34:06	計算結果で説明されるというふうに今して理解しておけばいいですか。

1:34:15	はい板橋でございます。こちらの方でボード指導に関しましては前回のヒアリングの際にも少しご説明させていただいたところでございますけども、基本的にウェブ召集したサイト全体として管理されている物性値を使っているといったところがございますので、
1:34:32	この部分を戻しといったところに関しましては、基本的には齋藤
1:34:39	料金をですね考慮をしたいというふうに思っているところですし、あとばらつきもですねこの部分として設定しているといったところもございますので、この部分としましては
1:34:50	どうしても原理的な値のほうを用いたものの検討といったところで今考えているところがございます。
1:34:56	規制庁浜崎です。例えば、FA周辺の梅田の試験結果はないということですか。
1:35:21	飯田。
1:35:23	東京支社から、原燃の宇野でございますが、埋戻堂のですね分線につきましては、この周辺でもとられてますがジャストポイントではとっておりません。
1:35:36	規制庁浜崎です。
1:35:39	先日も言ったといいますか、まず、MOXと同じスタンスで、地盤モデルを作ってみて、それで比較しましょうという話をしたかと思っておりますので、
1:35:49	MOXは、周辺の上の物性受血を使っているということもあるので、今植野さんの話ですと、ないわけではないということならば、そういう検討が可能ならばですね、
1:36:03	まず表層が本当に一律でいいのかどうかというところを見極める必要があるんで、今のような話をしたわけですので、まずその点を今後確認が必要と思っております。
1:36:16	まずその認識よろしいですか。
1:36:21	元のものでございます。
1:36:25	今の平均を入れてるのはですね地盤モデルとして、直下地盤とですね平均地盤で、どのぐらいの差があるかということで、できるだけですね差が出るような差が出るっていうのを言い方おかしいかもしれないんですけど同じ条件のもとですね、
1:36:42	どれだけ違うのかというのをやっております。そ今おっしゃられてることはですね多分耐震設計の場ではですね、
1:36:52	as-isじゃないですけども近くのものを取るなり或いはそのばらつきを用いづらいということで検討していくものだというふうに考えて、
1:37:01	吉ハバサキです。

1:37:04	結果的にそのMOXと同じ
1:37:10	ように、
1:37:11	直下或いはその周辺地盤の物性値でまず地盤モデルを間作りましょうという考えと、今回、
1:37:19	事業者の提案している平均モデルを比較する上では、as-isの条件までモデルが必要だということ認識は合意してるとおもうので、そのモデルに、今は表層に関しては、合っていないとなれば、そのを合わせた状態でアズイズの状態でのモデルでの比較を今後お願いしますということです。
1:37:40	原電の野呂でございます。承知いたしました。了解いたしました。また、検討させていただきたいと思っております。はい。そそれとですね、今これ併存
1:37:52	すいません、ちょっと挟んで申し訳ないんですけども、今までやりとり聞いてて、もうはっきりしないんですけど、
1:38:01	見せていただいている図の直下地盤モデルの表層時間は、
1:38:06	中央地盤モデルと同じ設定をしているというご説明でよかったんですかね。
1:38:15	日本原燃の尾野でございます。
1:38:19	旧地盤と同じというのは県モデルはですね中央地盤そのまま使っております。先ほどの郷高野です。5項につきましてはですね先ほどのエリアですねFAエリアというところの、
1:38:31	5項については5項の平均値を用いてということでございます。
1:38:36	そこははっきりさせてください、直下地盤モデルの表層地盤の設定は、この学校を使って、つまりこのFA周辺の、
1:38:47	アズイズを反映したものになっていると。
1:38:50	一方で中央地盤モデルと書いてあるものは、いわゆる平均地盤モデルとこれまで言っていたもので、中央エリア一律平均で設定したのになっていると、
1:39:01	重要地盤モデルと直下地盤モデルの表層地盤の設定は、
1:39:05	全然違うんですよというご説明でよろしいですか。
1:39:09	すいません井浦さんえーとですね鷹架層についてのお話で、表層につきましては、今、
1:39:17	調査の話ですが表層の話につきましてはですね1月31日にご説明させていただきましたように、基礎地盤から上はですね両方とも同じ埋め戻し度でやらせていただいております。
1:39:29	規制庁石井です。同じようなことという意味がよくわからなくて、つまり近傍地盤モデルと同じ設定を、表層地盤についてはしてるという、そういう理解でいいんですかね。
1:39:42	原燃の尾野でございます。はいその通りでございます。

1:39:45	聞いて欲しいです。はい、わかりました。そういうことであれば先ほどハバサキが最後に言ったように、MOX建屋でやったのと同じように、表層地盤についても、
1:39:55	as-is
1:39:57	この建屋周辺の条件をちゃんと設定したようなやり方で比較してくださいねということに尽きるかと思いますので、ちょっとそれは進めていただくということで、理解しました。はい。以上です。
1:40:13	はい、規制庁ハバサキのページの結果は表層に関しては、
1:40:18	同じ物性値を使った結果だというふうに理解しております。
1:40:23	それで高放送するそうなものですがけれども、支持層に関しては直下地盤の今回の結果っていうのは、MOXと同様に、ひずみ依存性動特性を考慮した結果になってますよね。
1:40:40	はい、土橋でございます。こちらの方も 31 日にご説明したところでございますけども岩盤部分に関しましては線形の方で実施してございます。
1:40:48	規制庁ハバサキです。
1:40:50	わかりました。これは設計の結果なんですね。
1:40:55	わかりました。ということは、
1:40:58	高尾についてもですねひずみ度特性がある程度出てきてるのは、第 1 回のオービィとかボックス僕はちょっと違いますけどもNMBでもあって、
1:41:08	特に減衰は、3%引きってやっていますけれども、OBの結果なんか見ても高尾小は 2%前後になってますほとんど 2%となっています。
1:41:18	そういう違いはひずみ依存特性が高尾にもある。
1:41:22	その影響を含めて、そのターボ嬉しいそうですね。それと表層、それをas-isの状況、MOXと同じにして比較をしてくださいというのが最終ゴールですので、
1:41:35	今回は途中経過ということで、表層は一緒です。指示等に関しては線形ですというので、そういう結果ですということでは理解しました。ただ、1000、この結果っていうのはですね、
1:41:47	以前、原燃の方から示されている、PS検層のFAのところを見ればですねほとんどFAのところって、直下と設計用の
1:41:59	温泉の差ですね、Vsの差がないんで、これ結果は、線形であったり表層が一緒だったらこれはもう、
1:42:07	自明だということで解釈しました。
1:42:10	ですので、今日の結果は理解しましたけれども、いずれ、表層の話、鷹架層のひずみ依存特性を含めた評価での比較、平均 10 万との比較。

1:42:22	それを次回以降ですれ説明の方、準備してください。
1:42:26	よろしいですか。
1:42:31	羽生と同じでございます。検討を進めたいと思います。
1:42:35	規制庁の池田ですけど、ちょっと今に関連して、藤トガシさん何で我々がこう いうこと言ってるか、ちゃんと理解している。
1:42:47	皆さんは、こないだ俺言ったけど、二つね。
1:42:54	妥当性の説明をしないとイケないんだけど、
1:42:59	何と何、
1:43:02	はい、ありがとうございます。まず一つ目といたしましては入力地震動が大きくな ってるといったところがございますので、そちらの方の影響があるのかといっ たところ、今それがだから結局今のね、
1:43:14	ひずみ依存性の話とかが影響してくるっていうとね。
1:43:22	ありパンフレット、あいにくに飛ばしてございますはい。
1:43:25	理解しておりますはい。
1:43:26	うん。
1:43:27	でも1個は、
1:43:32	はい。はい、植野トガシでございます。我々の方として最終的に平均地盤モデル 作ってございますので、そちらの方を使えるといったところの、
1:43:42	なぜ変えるかといったところの説明だというふうに理解してございます。
1:43:47	いや、2番目が違うよ。
1:43:52	なぜ使えるのかっていう説明は別に求めてないよ。
1:44:02	最終的には皆さんの言い方はそうなるのかもしれない
1:44:11	が直下地盤です。
1:44:13	ちゃんととらえているのかということでしょうか。
1:44:17	だからもともとね、
1:44:20	平均地盤モデルっていうのは一般的なやり方ではないね。
1:44:29	僕いたしました。はい。
1:44:30	了解って違う一般的な直下の作り方。
1:44:37	いや、
1:44:37	一般的なやり方ではない、ないと思っているかっていう。
1:44:43	まず、
1:44:48	林さん的には平均地盤モデルは、一般的なやり方なんですかっていうこと。
1:44:58	はい。
1:45:02	我々はね。

1:45:03	平均地盤モデルは一般的ではなくて原燃はイレギュラーなことをやってきたというそういう感覚でいるんですよ。
1:45:13	原燃は、
1:45:19	トガンでございます。
1:45:24	難しいところだというふうに思ってます。
1:45:28	非常に当社の場合ですと、建物が密集しているといったところがございます、管理官のおっしゃられる一つの建物を作るときにどうすんだというような、
1:45:41	に対してのお答えですと、当然その建屋に対しての直下ボーリング医師を平均して物を作っていくといったところが、
1:45:50	これまでもやられているものといったところは理解はしております。ただそういった複数の施設が近接したっていうと、というような特徴を踏まえたときに、こんな地盤モデルの作り方がないのかと言われると、
1:46:05	私の個人的なんでございますけども、こういうふうな地盤モデルの作り方は、どうしても工学的には、
1:46:14	じゃないかなといったところを埋めているところでございます。
1:46:18	じゃさ、
1:46:21	多分ね富樫さんが今そういうふうな意見を言ってるってことは、多分、永久にこれ解決できない。
1:46:37	そういう、その部分の感覚を、我々とちょっと、
1:46:42	議論しないとイケないのかもしれないんだけど、
1:46:47	要するに、
1:46:49	じゃなぜねちよ我々、なぜ直下の地盤と平均を比較するかっていうのは、平均地盤モデルを使ってはいけないとは言っていない。
1:46:59	ただし一般的 2 やった場合には無効だからってことで、だから、
1:47:07	これね難しいんだけど比較っていうことは、比較して両方マルつけるなしなり片方マルつける、どっかに丸を置かないといけないってことなんですよ。
1:47:19	その丸の基準が富樫さんの場合はないんだよね。
1:47:26	富樫田丸の基準は何。
1:47:30	我々は 0 の基準を、一般的なやり方の建物の直下とか、それにほぼ近いような、近傍をから、
1:47:41	一般的にはそういうふうなことでやると、だからそれを一時的に 0 当行と、
1:47:49	その 0 と平均のものを比較して、遜色なければ、平均でも、別にこのケースはよかったんじゃないのっていうそういうような、
1:48:00	ロジックに立ってんだよね。
1:48:03	ネットは資産はどう、どこに丸尾移転の

1:48:12	です。
1:48:14	あとはC。
1:48:16	うん。考えというかこれまでの考え方を申し上げます。丸はどれって言うんだよ。
1:48:28	いる敷地の排地盤特性を踏まえてといったところが、我々も踏まえてんだよ。
1:48:40	それは他人の敷地のデータなんか使わないよね。そんなことは明らかな、それは一緒だよ。
1:48:45	だから富樫さんね。
1:48:47	今富樫さんの考えから脱出しないとこれ永久に元のロジックにならないからね。
1:48:58	日本原燃の松本です。よろしいでしょうか。
1:49:03	管理官のおっしゃることは、私としてはそういう理科をしておりますので、ちょっと元の中で認識を合わせるようにしたいと思います。以上です。
1:49:16	いずれにしろね、だから、我々が今要求して、直下と比較してくださいっていう花Cをちゃんと
1:49:27	気味を、趣旨を理解しそれを受け入れて実行しない限り、最終的にいつまでたっても説明は、
1:49:38	きっとできないってことで、じゃあなぜ富樫さんはね。我々が言ったことを受け入れて、検討を開始したのかっていうのがまたわからなくなっちゃえばね。
1:49:50	いずれにしろ、
1:49:52	そこがね、議論なんですよまず。
1:50:02	それをお互いに、そういうことだよねとだからちゃんとと比較して確認しないとイケないよねって。
1:50:09	そして平均が使えるのか、使えないとか、使っても差し支えないのかってところの、最終的にやると、その意味では、やっぱり0をどっかに、
1:50:23	動かないといけないと。
1:50:26	その丸尾ところっていうのは、やっぱりノーマルな、一般的に受け入れられやすい方式をとる。
1:50:34	とか、原子力施設と同じような考えやり方っていうのが、一番受け入れなりやすいんじゃないかっていうのが我々の
1:50:48	今立ち位置なわけで、その辺りしっかりちょっとこの中で議論し、議論というか、ちゃんと意思統一を図って欲しいと思います。以上です。
1:51:00	はい日本原燃松本です。申し訳ございません。早急に意思統一を図りますのでよろしくお願いいたします。
1:51:11	規制庁浜崎ですよろしいですか今も管理官から話がありましたように、

1:51:16	は、まず、土橋さんの方の中には、我々、我々の認識はとにかく平均モデルありきで
1:51:25	ロジックを展開している。
1:51:27	というふうに考えてますんで、我々のスタンスは、激モデルを頭から否定するものではない。ただ、それがいいという、設計モデルとして、
1:51:38	A、Eというステップの考え方としては、説明あったような二次元と比較していません云々では、それは納得いきません。
1:51:47	で、文字ボックス等で、第1回申請で、
1:51:51	いわゆる通常のやり方、周辺の近傍だとか、思想の
1:51:57	ひずみと特性も含めた形でのモデルを作った。それと同じやり方で、例えばFAにしても、この施設に対して、国庫ってのはさっきのグループでもいいんですけどね。
1:52:10	そモデルを作って、
1:52:13	入力度比較をして、その結果が平均のモデルとの遜色がなければ、平均モデルでいいですと。
1:52:20	いう判断になるかというふうに我々は考えてます。今日の結果を見ましてもですね、
1:52:27	先ほど言いましたように、例えばFA近傍っていうのは、
1:52:31	PS検層の結果を見ると、平均と直下でほとんど差がない。ばらつきも少ない。だからFA近傍では、さっきの競争の話と、支持層の動特性の影響しか出てこないだろうと。
1:52:45	したら、その影響が入力等に対して平均モデルと差が、遜色がそんなにない。なければ、FA近傍に関しては、平均モデルの採用というものを上げるかなというふうに考えてます。
1:52:58	そのエビデンスを示してくださいということです。当然結果は、田井さん、大きな違いが出てきたらば、やはりFA近傍でも直感地ファンの採用にならざるをえないと。
1:53:10	ということもあります。
1:53:11	一方、東側の方ちょっと話し合いますと、東側平均と直下の条件がかなり違ってますから、これはちょっと東側で、平均地盤を、
1:53:22	使うのはちょっと難しいだろうなというふうに予測してます。そういったものをですね、事実確認の上、
1:53:29	ちょっとやっぱり使わないといけないのか、平均でもいけるのか、そういった判断をするための材料を出してくださいということです。今日は、とにかく途中段階ということで線形であったり、表層地盤は同一であると。

1:53:42	それはまあ、途中段階ということで理解しましたけれども、最終的にはMOXと同じ条件で直下直下の、
1:53:50	モデルを作って入力度を比較して、
1:53:53	その上で判断を我々はしますので、その準備の方をお願いしたいと思います。富樫さん理解いただいてましたでしょうか。
1:54:05	はい、土橋でございます。はい。浜崎さん、上出浜崎さんの内容は理解いたしました。はい。
1:54:19	規制庁浜崎です。そうするとですね、先ほど冒頭に話が出た、来週月曜日までに云々の話、それから次に施設の周辺の話ですけれども、
1:54:33	今後どういう手順で進め、
1:54:36	る予定か。
1:54:38	もし今、考えがあれば、説明し、できますでしょうか。
1:54:45	はい。良いね投資でございます。
1:54:47	ちょっと我々違うことを考えている時に幹事市も少し、
1:54:54	お話をさせていただいたところでもございましたけども、ちょっと作業の速度重視と いったところで、
1:54:59	表層部分の取り扱いといったところの部分2がへき敷地内の平均値を使うと いったところで、今こちらの方を組み立てていたところでございます。
1:55:10	それで今日のご発言を踏まえたところでいくとそういった趣旨ではないといった ところですよというふうに理解いたしましたので、そうすると少し表層のデータの 整理といったところもございますので、ちょっと今一度ですねこの部分に関しま しては、
1:55:26	TRACY計算等もですねちょっと相談を踏まえて、ちょっと再度肯定感といった ところは、数を精査していただきたいというふうに思いますただ冒頭に管理課 からお話あった部分でもやはり、
1:55:37	スピードといったところもありますので、そちらの方も念頭に入れながら少し再 度ちょっと調整させていただきます。以上です。
1:55:47	はい、規制庁岡崎です。具体的なスケジュールについては事業者っていうの は関係者ですね、調整してもらえればと思います。で、今日の話、或いは今 多分作業されている、もう、
1:56:01	表層は平均と一緒に、しそ設計で計算されたと思いますけれども、それを、あ る意味その途中経過、1、
1:56:13	途中段階の設計の家あたりですという位置付けで説明してもらおうのもいいで すし、最終的には、表層の違い、動特性を考慮したもの、違いでの比較を、

1:56:26	いきなり計説明してもらっても結構なんですけども、そこら辺、時間との兼ね合いも含めてですね、ちょっと具体的なスケジュールを、後程ですね、
1:56:39	今週、今日或いは来週初めにはですね知らせてもらいたいと思います。
1:56:44	その上でこの会合の方でもですね、地盤モデルの進捗についての説明があると思いますのでですね、それも含めて、どういうシナリオ、もっと言い方にする、するのかですね、また説明の方をお願いしたいと思います。
1:56:59	よろしいですか。
1:57:02	はい。富樫でございます。まずスケジュール化作業の今後のスケジュール化につきましては関係者の方と調整いたしまして来週の早い段階のところでご説明の方をしたいというふうに思って質問を提出したいというふうに思います。
1:57:16	また会合の部分に関しましては
1:57:20	障害という今後の進め方のようなお話になるかというふうに思いますけどもその部分に関しましての社内で協議いたしましてお話できるといったところへ部分をですね、
1:57:31	21 日に向けて進めていきたいというふうに思います以上です。
1:57:37	はい、規制庁は滝です。
1:57:40	準備をお願いしたいと思います。そういう意味ではですね今日のヒアリングで富樫さんの方も、
1:57:49	かなり考え方を変えざるを変えられるというふうに思ってますので、そうするとその 1 月 31 日に提出されてます介護資料の地盤モデルのですね、
1:58:00	件に関しては、これはもう、一応、
1:58:04	もう 1 回、ね、何ですかねもう説明は、
1:58:09	良ということで、新たなものを今後用意するというふうに理解しておけばよろしいですか。
1:58:19	はい。土橋でございます。先日出したものはシナリオが違うというものでなるというふうに思いますのでその部分に関しましても
1:58:29	弊社と協議いたしまして
1:58:32	ちょっと今後の進め方といった内容にですね、まとめさせていただいて
1:58:37	ちょっと今後、提示させていただきたいというふうに思います以上です。
1:58:42	はい。規制庁浜崎です。連絡を待ってますので、はいよろしく申し上げます。私から以上です。
1:58:55	岸野です。
1:59:00	えと先ほど
1:59:05	の中でですね、
1:59:07	どうしても条件設定モックスルー。

1:59:13	スティックですね、いろんな判断材料を出してくださいねということで、
1:59:18	鳥羽サッカー行ったことに対して、的場さん理解したって言われたんですけど、先ほど、その前のやりとりもあったように理解して、
1:59:29	もう非常に多くってですね、ちょっとマインドを変えていかないとなかなか議論がかみ合わないのではないかなっていうふうに、
1:59:35	載りました。31日のヒアリングでもですね、
1:59:42	中央施設からやっていくってようなお話をされていたと思うんですけども、結局、今日は、それとまた、
1:59:49	違うものを出してきたということで、それも31日は理解したって言うように思うんですけど、結果違うものを出されてくるとですねなかなかかみ合わないということもありますので、
2:00:00	今日のやりとりも踏まえて、他に理解しておるんじゃないかとですね、その方向に沿って、説明をするにはどうしたらいいかってのちゃんと考えてから次回説明をしていただきたいと。
2:00:12	思いますけれども、その点大丈夫ですか。
2:00:16	はい。日本原燃松本ですおっしゃることをわかりますので私の方で、社内の意思統一を図って今後説明していきたいと思えます以上です。
2:00:28	越後金です。はい。よろしくお願いします。遠藤で合意した事項でこちらその認識でいるのに、また違う説明をされて、また方向性が変わったりとかするとですね。
2:00:38	当然ながらまた、
2:00:40	1から入れるってことになりますので、その点レビューを踏まえてですね、今後対応していただければと思います。よろしくお願いします。
2:01:04	規制庁の武田ですその他規制庁側、何かございますでしょうか。
2:01:16	31のヒアリングで、表層地盤の設定、特にMOXの周辺のところでは、
2:01:23	埋め戻し度がかかっている部分が、
2:01:27	ちょっと中途半端になっているようなところとかがあって、それらについても、表層地盤を一律にするかどうかというの、適切かどうかというのにはエビデンスをもって、
2:01:38	説明するという。
2:01:40	ことをこちらからもお伝えしているをお伝えしているかとは思いますが。
2:01:47	そういった根拠も踏まえて表層地盤の設定は今後されていくということで、
2:01:52	西がよろしいですか。
2:01:58	はい。日本原燃松本です。はいその認識で、我々も取り組んで参ります。
2:02:05	はい、承知しました。それではその認識で進めていただければと思います。

2:02:11	その他規制庁側からはよろしいですか。
2:02:17	はい。
2:02:18	それでは原燃から何かございますでしょうか。
2:02:25	はい2番目のマツモトです。はい。本日の内容をよく理解した上で今後進めて参りますので、引き続きよろしく願いいたします。
2:02:35	はい。規制庁竹田です。はい。それではよろしく願いいたします。
2:02:40	他にないようでしたら本日のヒアリングはこれで以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
2:02:46	ご連絡させました。